

成果指標				
成果指標	当該年度の農業用廃棄物回収・再生処理量／前年度の農業用廃棄物回収・再生処理量×100 なお、就農研修資金償還免除事業は、裁量の無い経費の支出事務のため指標設定は行わないものとする。			
指標設定の考え方	耕作放棄地が年々増加する中、回収・再生処理を行った農業廃棄物の処理量を昨年度実績と比較することで、市民生活の環境保全に寄与する事業効果を測る。なお、就農研修資金償還免除事業は、請求に基づき償還予定額を支給する裁量の無い事務のため、指標設定は行わないものとする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	1.022	1.077	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業生産に伴う廃棄物の処理経費の負担軽減は、農業の振興の推進にとって重要な事業と思われるため、今後も継続する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業廃棄物処理事業について、年々処理量が増加していたが、今年度は減少が見られた。環境汚染物質の削減において、再生処理100%の効果の高い事業であり、廃プラスチック適正化推進協議会との密な連携による処理量の増加を推進する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題